



EMC/Wireless 最新情報

2022 年 11 月 24 日

世界市場への参入のために必要な要求事項を常に把握しておくことは、重要であると同時にさらに困難になっています。

本資料は、アメリカ、カナダ、欧州、日本、オーストラリア、ニュージーランドおよびその他国際規格に関する EMC/Wireless の最新規格・規制情報を掲載しております。世界の規制に関する UL Solutions の専門知識を活用し、ターゲット市場への迅速な参入および継続的な市場参入の実現にお役立てください。

概要

- 欧州 | RE 指令整合規格、UK
- アメリカ | KDB、6 GHz 帯
- カナダ | ICES-004
- 日本 | MRA、リチウムイオン電池、ドローン
- オーストラリア、ニュージーランド | LIPD、無線規定
- 各種規格 | ECC

*本コンテンツの知的所有権は UL Solutions にあります。無断での転用配布・放送は禁止されています。

*本資料は、資料作成時点の情報を基に作成しています。本資料の情報に基づいて行った行為により生じたいかなる結果に関しても、弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。また解釈に疑義が生じた場合は原文をご確認ください。

*参照先のリンクは本資料が作成された時点でのリンクとなります。本資料が公開されたタイミング、またはダウンロードされるタイミングによっては参照先のリンクが有効でない場合がございます。ご了承ください。

*本内容は一般的な情報を提供するもので、法的および専門的助言を与えることを意図したものではありません。

EU | RE 指令整合規格、UK

2022 年 11 月 10 日

2022 年 11 月 8 日付にて RE 指令整合規格が更新されています。明確化のため 2018 年 9 月 14 日付け 2018/C 326/04 以降に発行された Decision をすべて削除し、統合した形で更新されました。今回新しく加わった規格は次のものとなります。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

| | | |
|-----------------------|---|---------------------|
| EN 300 422-1 V2.2.1 | EN 300 422-1 V2.1.1、EN 300 422-2 V2.1.1、EN 300 422-3 V2.1.1 を置換 | DoW 2024 年 5 月 10 日 |
| EN 300 674-2-1 V3.1.1 | 追加 | |
| EN 301 025 V2.3.1 | EN 301 025 V2.2.1 を置換 | DoW 2024 年 5 月 10 日 |
| EN 301 489-12 V3.2.1 | 追加 | |
| EN 301 489-20 V2.2.1 | 追加 | |
| EN 301 489-52 V1.2.1 | 追加 | |
| EN 301 908-10 V4.3.1 | EN 301 908-10 V4.2.2 を置換 | DoW 2024 年 5 月 10 日 |
| EN 301 908-13 V13.2.1 | EN 301 908-13 V13.1.1 を置換 | DoW 2024 年 5 月 10 日 |
| EN 303 213-5-2 V1.1.1 | 追加 | |
| EN 303 345-2 V1.2.1 | EN 303 345-2 V1.1.1 を置換 | DoW 2024 年 5 月 10 日 |
| EN 303 345-5 V1.2.1 | EN 303 345-5 V1.1.1 を置換 | DoW 2024 年 5 月 10 日 |
| EN 303 347-1 V2.1.1 | 追加 | |
| EN 303 347-2 V2.1.1 | 追加 | |
| EN 303 347-3 V2.1.1 | 追加 | |
| EN 303 363-1 V1.1.1 | 追加 | |

※Annex II (明確化のため)

- EN 301 908-14 V13.1.1、EN 301 908-15 V11.1.2、EEN 301 908-18 V13.1.1 の 3 規格は DECISION (EU) 2022/498 により Annex I からいったん削除されているため、DECISION (EU) 2022/498 の発行日 2022 年 3 月 29 日から DoW:2023 年 9 月 23 日まで有効であることの明確化のため記載

※Annex III (以前発行された Decision に基づく期日を再掲載)

- EN 301 444 V2.1.2(V2,2,1 に置換)、EN 301 908-1 V13.1.1(V15.1.1 に置換)は DECISION (EU) 2022/498 に DoW: 2023 年 9 月 29 日が記載
- EN 302 066-2 V1.2.1(EN 302 066 V2.2.1 に置換)、EN 302 208 V3.1.1(V3.3.1 に置換)は DECISION (EU) 2021/1196 に DoW:2023 年 1 月 20 日が記載
- EN 302 217-2 V3.2.2(V3.3.1 に置換)は DECISION (EU) 2020/1562 に DoW:2023 年 9 月 29 日が記載
- EN 302 296-2 V1.2.1(削除)、EN 302 480 V2.1.2(V2.2.1 に置換)、EN 302 567 V1.2.1(V2.2.1 に置換)は DECISION (EU) 2022/498 に DoW:2023 年 9 月 29 日が記載

2022 年 11 月 14 日

英国において、UKCA マーキングに関する猶予が更に 2 年間延長されました。これにより、以下期限まで CE マーキングされた製品を上市することが可能となります。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

- 2027 年 12 月 31 日午後 11 時まで、製品に貼付されたラベルまたは製品に添付された文書に UKCA マーキングを付けることが可能
- 2024 年 12 月 31 日午後 11 時まで EU 内の適合評価機関の適合性評価を認める（本適合性評価に基づき、UKCA マーキング可能。認可証の有効期間が 2027 年 12 月 31 日までどちらか早いほうまで有効）
- 2024 年 12 月 31 日午後 11 時まで製造され、英国に輸入された CE マーキングの貼付された製品を、UKCA の要件を満たすことなく販売可能

アメリカ | KDB、6 GHz 帯

2022 年 10 月 25 日

【[610077](#)】 Post-Market Surveillance Requirements for TCBs

※D02 V01R01 は D02 V01 を置き換え。合格、不合格の記載方法を明確化

2022 年 10 月 25 日

【[388624](#)】 Pre-Approval Guidance (PAG)

※D02 v18r03 は D02 v18r02 を置き換え。限定モジュール用に MODLIM、分割モジュール用に MODHES がそれぞれ追加。ともに再利用に影響

2022 年 10 月 25 日

【[634817](#)】 2.102, Frequency Range, Certification

※D01 v04r2 は D01 v04r01 を置き換え。「Section III 複数のチャネル帯域幅、複数のエミッション タイプ、および複数の帯域を持つデバイスの Form-731 ライン カウントに関する考慮事項」に 5G を含めた

2022 年 10 月 25 日

【[285076](#)】 20.19, Hearing Aid Compatibility, HAC

※D04 v01r01 は D04 v01 を置き換え。セクション II テストに関する考慮事項を、規則 § 20.19(b)(3) の要件と一致するように明確化

2022 年 10 月 25 日

【[206256](#)】 Wireless Microphone

※D01 v02r01 は D01 v02 を置き換え。§ II に(h)が追加され、§ 15.236 に基づくモジュール認定ワイヤレスマイクは不可

2022 年 10 月 25 日

【[996369](#)】 Modules, Module Certification, 15.212

※D03 01r01 は D03 v01 を置き換え。§ 2.4 限定モジュール手順 (PAG MODLIM)、§ 2.7 アンテナ（ライセンスと固定デバイス）、§ 2.11 EMC の考慮事項（追加：ホストでの EMI の考慮）、§ 2.12 変更（追加：変更方法に関する連絡先情報提供の推奨事項等）

2022 年 10 月 25 日

【996369】 [DRAFT](#) Modules, Module Certification, 15.212

※D01v03 は D01v03 を置き換え予定。変更点：①ライセンスデバイスのスプリットモジュールの許可、②限定モジュールに対する PAG 承認手順の追加、③モジュールとして許可されるかのリストを Appendix A に追加、④新しい KDB 447498 の引用

2022 年 11 月 2 日

FCC は保留となっていた 6 GHz 帯域の 5.925 GHz～6.425 GHz および 6.525 GHz～6.875 GHz に対して、自動周波数調整 (AFC) システムに基づく標準電力デバイスを条件付で認めたことを公表しています。これにより、より高い出力と組み合わされたこの追加スペクトルが提供するより高いスループットが可能となります。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

カナダ | ICES-004

2022 年 10 月 28 日

本年 4 月にドラフトとして発行されていた ICES-004 Issue 5 の正式版が掲載されました。主な変更点はドラフト時と同様であり以下となります。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

1. 参照 (§ [2.2](#))、定義 (§ [2.3](#))を更新
2. ループ アンテナの特定の高さ、ロッドアンテナのカウンターポイズを適切に接地する必要性など、測定手順のさまざまな側面を明確化 (§ [3.2](#))
3. リミット仕様を再フォーマットし、適合性を簡易化して迅速な決定が可能に (§ [3.3.1](#))。リミット仕様書の古い形式は[附属書 B](#)に保持
4. ICES-004 の要件とリミットの履歴を記載 ([附属書 A](#))
5. 測定シナリオの例を追加 ([附属書 C](#))

日本 | MRA、リチウムイオン電池、ドローン

2022 年 10 月 19 日

2022 年 7 月 13 日から意見募集が行われていた日 MRA に関して官報に掲載されました。大きな修正はなく提案通りとなっています。政令：[要綱](#)、[本文・理由](#)、[新旧対照条文](#)、[参照条文](#)。また省令は 2022 年 11 月 7 日に発行されています。[概要](#)、[令和 4 年総務省・経済産業省令第 3 号](#)、[令和 4 年総務省・経済産業省令第 4 号](#)

2022 年 11 月 4 日

リチウムイオン蓄電池の基準としては古い技術基準解釈の別表第九では、各電池ブロックの電圧監視について明示的に求めておらず、過充電による発火事故を引き起こす懸念あるため、リチウムイオン蓄電池に係る技術基準

解釈別表第 9 を最新の国際規格に対応した別表第 12 の整合規格に一本化するための改正が予定されています。
詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

2022 年 11 月 10 日

携帯電話をドローンに搭載して上空で利用するニーズに対応するため、2016 年 7 月に地上の携帯電話システムに影響を及ぼさないよう、飛行台数を監理して使用を認める「実用化試験局制度」が導入されました。当初、実用化試験局の手続には、事前準備も含めて通算 2 か月程度の期間が必要でしたが、ドローンの利用拡大に伴い、運用開始までの期間の短縮が求められ、2020 年 12 月に手続の簡素化等の制度整備が実施されています。現在上空で利用可能な FDD-LTE 帯域について、5G でも利用可能とすることが望まれていることを受けての検討が行われています。5G の上空利用は、LTE の上空利用時同等の上空用送信電力制御を行えば、地上の既存システムへ与える影響は同等以下となるため、地上の既存システムと共用可能としています。携帯電話事業者からも、FDD-LTE 方式での高度 150m 以上での利用や、FDD-NR 方式での上空利用について、具体的なニーズがあるとして検討希望が示されています。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

オーストラリア、ニュージーランド | MRA、LIPD、無線規定

2022 年 10 月 21 日

オーストラリア ACMA は低干渉機器（LIPD）の要求事項の変更に関するコメント募集を 2022 年 12 月 5 日まで行っています。主な概要は以下となります。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

- 特定の地球受信局の運用の許可(915 MHz～928 MHz および 2400 MHz～2483.5 MHz)
- 周波数ホッピング送信機が使用する新しい周波数帯域の挿入(5925 MHz～6425 MHz)
- 無線ローカル エリア ネットワーク サービスの最大電力およびその他の要求の変更(5150 MHz～5250 MHz)
- 「屋内」という用語の定義挿入(常設の壁等で区切られ固定されている：乗り物は含まない)

2022 年 11 月 10 日

オーストラリア ACMA は、現行の 13 の無線通信必須技術基準と Radiocommunications (Compliance Labeling – Devices) Notice 2014 (RLN) の内容を Radiocommunications Equipment (General) Rules 2021 (一般機器規則) に組み込むことを計画しています。また以前廃止された C Tick マーキングや A Tick マーキングなどの不要な参照が削除されます。更に EME (電磁界への人体の曝露)試験方法に関する規格にとして、①、②の最近発行された EME 試験方法規格を、一般機器規則に採用することが提案されています。これは暫定試験方法 IEC TR 63170 を置き換えるものであり、計算方法と物理的測定の双方を使用して、6 GHz 以上で動作する送信機の一般機器規則における ARPANSA の EME 制限への準拠を判断できるようになります。詳細は[ウェブサイト](#)をご参照ください。

- ① IEC/IEEE 63195-1:2022 Assessment of power density of human exposure to radio frequency fields from wireless devices in close proximity to the head and body (frequency range of 6 GHz to 300 GHz) – Part 1: Measurement procedure
- ② IEC/IEEE 63195-2:2022 Assessment of power density of human exposure to radio frequency fields from wireless devices in close proximity to the head and body (frequency range of 6 GHz to 300 GHz) – Part 2: Computational procedure.

各種規格 | ECC

2022 年 10 月 7 日

[ECC Report 249](#) Unwanted emissions of common radio systems: measurements and use in sharing/compatibility studies latest amended 7 October 2022

※5G AAS(Active Antenna System) base stations 追加 (2022 年 5 月 19 日に Draft が発行された内容)

[ECC Report 342](#) Microwave Point-to-Multipoint technologies based on active antennas for 5G backhaul above 27.5 GHz

[ECC Report 343](#) New coexistence studies between various Short range device (SRD) applications and SRDs in data networks in the frequency band 915-919.4 MHz

[ECC Report 344](#) Sharing and compatibility studies of Security Scanners (SSCs) within frequency range 60-82 GHz

[ECC Report 345](#) In-band measurement methodologies for 5G AAS base stations in the field

[ECC Report 346](#) Technical studies on sharing between weather radars in part of 5365-5470 MHz and EESS (active)

2022 年 10 月 14 日

[REC 70-03](#) Annex A の W52 に対する車両内使用の制限削除

2022 年 10 月 19 日

[Draft revision of ECC Decision \(01\)03, annex 2](#) ECO Frequency Information System (EFIS)

2022 年 10 月 21 日

[EN IEC 62764-1:2022](#) Measurement procedures of magnetic field levels generated by electronic and electrical equipment in the automotive environment with respect to human exposure - Part 1: Low-frequency magnetic fields

2022 年 10 月 26 日

[ETSI EN 303 980 V1.3.1 \(2022-10\)](#) Satellite Earth Stations and Systems (SES); Fixed and in-motion Earth Stations communicating with non-geostationary satellite systems (NEST) in the 11 GHz to 14 GHz frequency bands; Harmonised Standard for access to radio spectrum

[ETSI EN 303 981 V1.3.1 \(2022-10\)](#) Satellite Earth Stations and Systems (SES); Fixed and in-motion Wide Band Earth Stations communicating with non-geostationary satellite systems (WBES) in the 11 GHz to 14 GHz frequency bands; Harmonised Standard for access to radio spectrum

2022 年 10 月 28 日

[EN IEC 61000-4-11:2020/AC:2022-10](#) Electromagnetic compatibility (EMC) - Part 4-11: Testing and measurement techniques - Voltage dips, short interruptions and voltage variations immunity tests for equipment with input current up to 16 A per phase

2022 年 11 月 11 日

[Final draft ETSI ES 201 468 V1.7.0 \(2022-11\)](#) Additional ElectroMagnetic Compatibility (EMC) requirements and resistibility requirements for telecommunications equipment for enhanced availability of service in specific applications

2022 年 11 月 18 日

[Draft ETSI EN 301 489-28 V2.1.0 \(2022-11\)](#) ElectroMagnetic Compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 28: Specific conditions for wireless digital video links; Harmonised Standard for ElectroMagnetic Compatibility

[Draft CEPT Report 83](#) Report from CEPT to the European Commission in response to the Mandate "Compatibility between MCV services using non-AAS 5G NR technology and terrestrial systems capable of providing electronic communications services in the paired 1800 MHz and the paired 2600 MHz frequency bands"

[Draft revision ECC Decision \(14\)02](#) Harmonised technical and regulatory conditions for the use of the band 2300-2400 MHz for Mobile/Fixed Communications Networks (MFCN)

< 上記の EMC/Wireless に関するお問合せ先 >

担当: [コンシューマー機器事業部](#) 橋本

